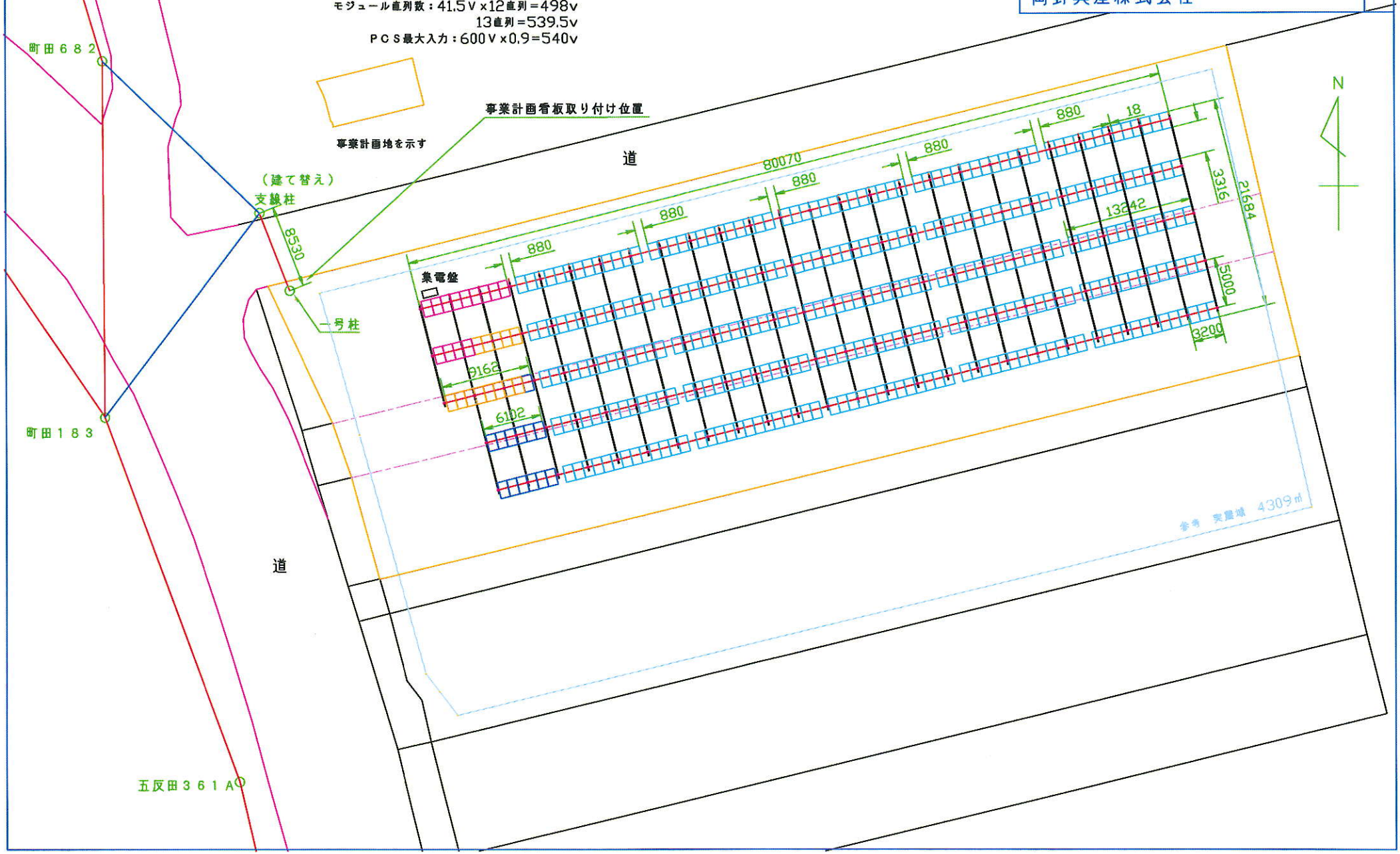
ジンコソーラージャパン	ＪＫＭ３３５Ｍ－６０Ｈ	364枚
モジュール寸法	1684×1002×30	
アルミ架台(傾斜１０°)	ソーラーシェアリング架台	
スクリュー杭	２５００Ｌ	128本

パワーコンディショナー	SUN2000-4.95KTL-JPL0	１０台
ＨＵＡＷＥＩ製	単相三線式	
系統回路数	（１３直列３回路）８台＝計２４回路	312枚
	（１３直列２回路）２台＝計４回路	52枚
交流集電盤	４０Ａ×１０回路、主幹３５０Ａ	１台
引き込み柱	鋼管７ｍ	１本

名称	桑山浦向岡野畑Ｆ５０太陽光発電所121.940ｋｗ					
所在地	〒300-0513 茨城県稲敷市桑山字浦向1667-1,-2,-3					
投影法	尺度	事業面積	外周	太陽電池認定容量	作成日	令和2年10月1日
第3角法	1/400	4,924㎡	299ｍ	認定118.95kwから121.94kwに変更	認定ID	AI55095C08
					設計番号	7AAB174

岡野興産株式会社



ジンコソーラージャパン	ＪＫＭ３３５Ｍ－６０Ｈ	364枚
モジュール寸法	1684×1002×30	
アルミ架台(傾斜１０°)	ソーラーシェアリング架台	
スクリュー杭	２５００Ｌ	128本

パワーコンディショナー	SUN2000-4.95KTL-JPL0	１０台
ＨＵＡＷＥＩ製	単相三線式	
系統回路数	（１３直列３回路）８台＝計２４回路	312枚
	（１３直列２回路）２台＝計４回路	52枚
交流集電盤	４０Ａ×１０回路、主幹３５０Ａ	１台
引き込み柱	鋼管７ｍ	１本

名称	桑山浦向岡野畑Ｆ５０太陽光発電所121.940ｋｗ
所在地	〒300-0513 茨城県稲敷市桑山字浦向1667-1,-2,-3

投影法	尺度	事業面積	外周	太陽電池最大容量	作成日	令和2年10月1日
第3角法	1/400	4,924㎡	299m	当初118.95kwから121.94kwに変更	認定ID	AI55095C08
					設計番号	7AAB174

岡野興産株式会社

モジュール直列数：41.5Ｖ×12直列＝498v
13直列＝539.5v
ＰＣＳ最大入力：600Ｖ×0.9＝540v

事業計画地を示す

事業計画看板取り付け位置

道

集電盤

一号柱

1667-1
パネル下面積　818.47㎡
下部農地面積　818.23㎡
支柱　52本　0.24㎡
一号柱　1本　0.01㎡
農地面積　1545.75㎡

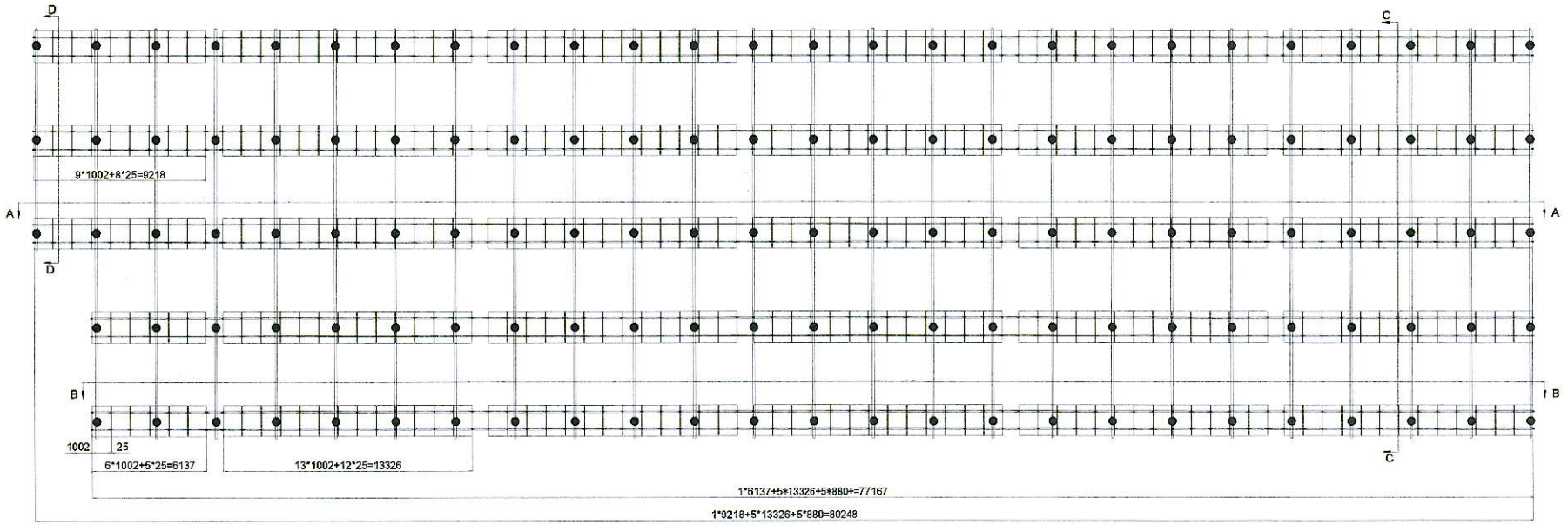
1667-2
パネル下面積　467.68㎡
下部農地面積　467.45㎡
支柱　51本　0.23㎡
農地面積　609.77㎡

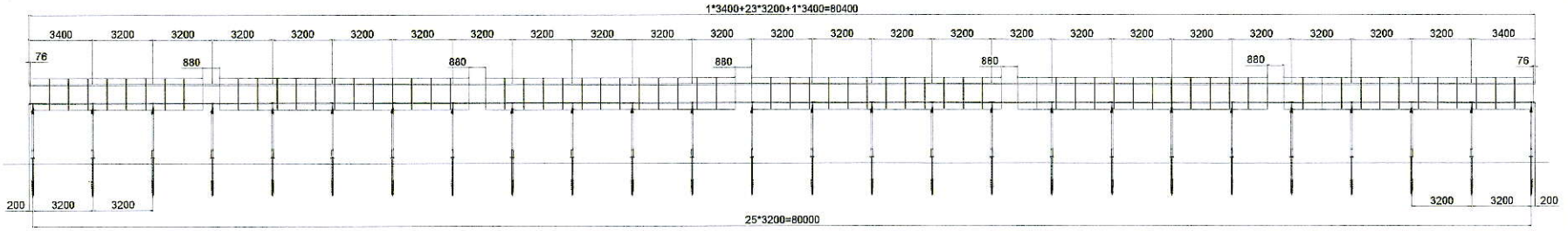
道

1667-3
パネル下面積　417.75㎡
下部農地面積　417.64㎡
支柱　25本　0.11㎡
農地面積　1046.89㎡

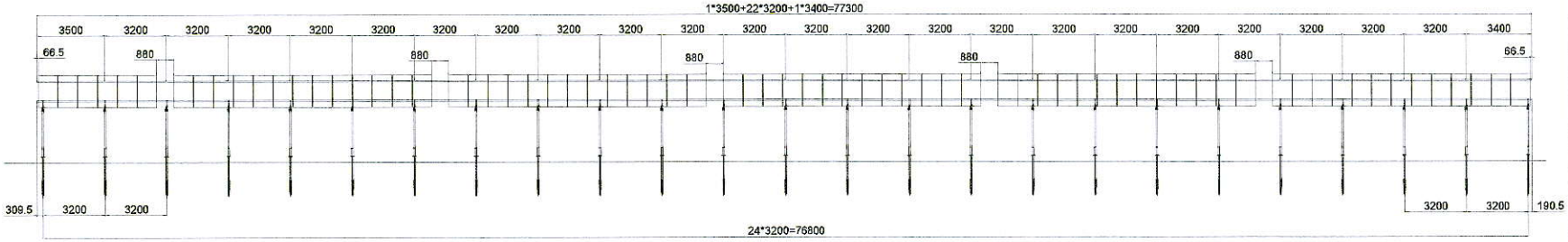
参考　実農場　4309㎡

全体
パネル下面積　1,703.9㎡
下部農地面積　1,703.32㎡
支柱　128本　0.58㎡
一号柱　１本　0.01㎡
農地面積　3,202.41㎡
遮光率35.4％





A－A

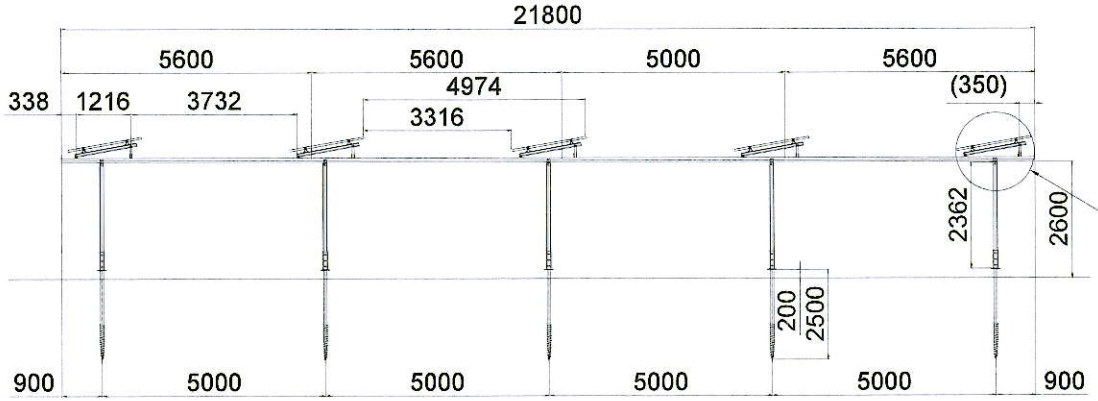


B－B

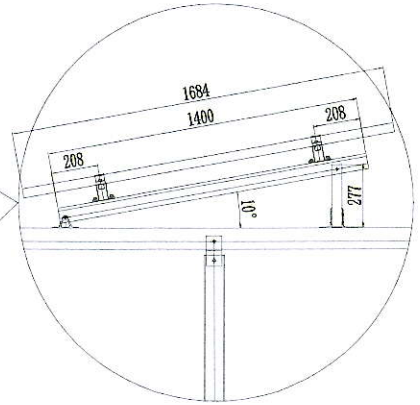
注：粘性土 N値≥3（SWS）

工事件名	桑山浦向岡野畑F50 発電所			工事番号	I07-0223		JIS C 8955:2017	角 法			
作成者	胡明敏	風速	34m/s	積雪量	30cm	モジュール寸法	1684*1002*30mm	縮 尺	1:1		
作成日	2020.09.25	地表面粗度	III 類	地域分類	一般区域	アレイ	1*13+25+1*9+3+1*8+2	単 位	mm		

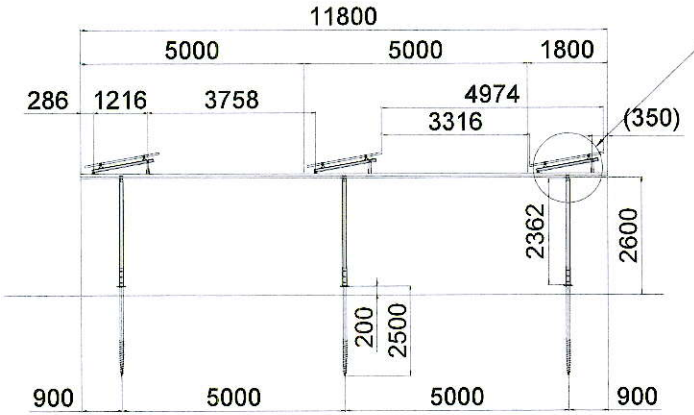
厦門金固美能源科技有限公司
Xiamen Goomax Energy Technology Co.,Ltd
GOOMAX
TEL:0592-2938661 FAX:0592-2938662



C－C



SC 5:1



D－D

注：粘性土 N値≥3（SWS）

工事件名	桑山浦向岡野畑F50 発電所			工事番号	I07-0223		JIS C 8955:2017	角 法		
作成者	胡明敏	風速	34m/s	積雪量	30cm	モジュール寸法	1684*1002*30mm	縮 尺	1:1	
作成日	2020.09.25	地表面粗度	III 類	地域分類	一般区域	アレイ	1*13*25+1*9*3+1*6*2	単 位	mm	

厦門金固美能源科技有限公司
Xiamen Goomax Energy Technology Co.,Ltd
TEL:0592-2938661 FAX:0592-2938662

令和８年10月29日

作物変更理由について

岡野興産株式会社

弊社は営農型発電所下部農地での営農にあたりサツマイモの栽培、販売を進めてきましたが、近年サツマイモの買取基準が以前よりも厳しい審査となり、今までA品で買いとられていた品質のものもB品或いはC品となりました。加えて茨城県では新規参入業者が増え、益々買取の金額が下落していきましたので、育苗、収穫等に多くの人員を要するサツマイモでは困難と考え、多くの面で機械化出来る牧草に着眼しました。また気候変動により各地で牧草不足、それにより飼料が高騰しております。地域の畜産物の飼料供給先として参入したく準備を進めております。
収穫した牧草ロールの買取販売先となっていただける地元近場の企業様とも新規参入ということで色々とアドバイスを戴き、今後も業務改善、品質改善と向上を進めていきたいと考えております。今後はサツマイモから牧草への集約転換も視野に入れながら営農を進めていけたらと思います。

以上の理由で弊社は農作物変更を致します。